

長野自動車道
犀川橋床版取替工事
(安曇野北インターチェンジ)

割掛対象表 参考内訳書

- ・割掛対象表参考内訳書、入札(見積)参加者の適正かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って、請負契約上の拘束力を生じるものではない。
- ・割掛対象表参考内訳書の内容に関する質問は受け付けない。

令和 8年 9月

東日本高速道路株式会社 関東支社

長野工事事務所

【共通仮設費】

割掛け対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
工所用機械運搬費 A 1（A）	質量20 t以上の建設機械の貨物自動車等による運搬及び運搬時の損料に要する費用をいう。	【安曇野北インターチェンジ(ランプ橋)】 P 2・P 3 橋脚 硬質地盤専用圧入機 普通鋼矢板用 重量29.8 t ー 1台ー1往復 運搬距離 59.8 km (片道) 現場内移動-1回 P 3 橋脚→P 2 橋脚	-
工所用機械運搬費 A 2（A）	質量20 t以上の建設機械の貨物自動車等による運搬及び運搬時の損料に要する費用をいう。	【安曇野北インターチェンジ】 函渠工（上下線延伸部） 硬質地盤専用圧入機 幅広ハット鋼矢板用 重量36.3 t ー 1台ー1往復 運搬距離 59.7 km (片道)	-
工所用機械運搬費 A 3（A）	質量20 t以上の建設機械の貨物自動車等による運搬及び運搬時の損料に要する費用をいう。	【安曇野北インターチェンジ】 函渠工（上下線延伸部） ゼロクラッシュパイラー NS-SP-J鋼矢板用 重量31.4 t ー 1台ー1往復 運搬距離 59.7 km (片道)	-
工所用機械分解組立費 A（A）	重建設機械の分解、組立、運搬及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	【安曇野北インターチェンジ(ランプ橋)】 P 2・P 3 橋脚 クローラクレーン 油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 70 t 吊 ー1台ー1往復 運搬距離 59.8 km (片道) 分解・組立を要する現場内移動-1回 P 3 橋脚→P 2 橋脚	-
工所用機械分解組立費 B（A）	重建設機械の分解、組立、運搬及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	【安曇野北インターチェンジ(ランプ橋)】 P 2・P 3 橋脚 オールケーシング掘削機 スキッド式 全旋回型 φ1500mmー1台ー1往復 運搬距離 59.8 km (片道) 分解・組立を要する現場内移動-1回 P 3 橋脚→P 2 橋脚	-
仮設材等運搬費 A 1（A）	仮設材等（鋼矢板等）の運搬に要する費用をいう。	【安曇野北インターチェンジ(ランプ橋)】 P 2 橋脚 鋼矢板Ⅲ型（中古品） 20.670 t 運搬距離 59.8 km (片道) 鋼矢板Ⅲ型（リース品） 13.740 t 運搬距離 59.8 km (片道) 腹起し材（リース品） 4.717 t 運搬距離 59.8 km (片道)	-
仮設材等運搬費 A 2（A）	仮設材等（鋼矢板等）の運搬に要する費用をいう。	【安曇野北インターチェンジ(ランプ橋)】 P 3 橋脚 鋼矢板Ⅲ型（中古品） 20.670 t 運搬距離 59.8 km (片道) 鋼矢板Ⅲ型（リース品） 8.430 t 運搬距離 59.8 km (片道) 腹起し材（リース品） 3.249 t 運搬距離 59.8 km (片道)	-
仮設材等運搬費 B 1（A）	仮設材等（鋼矢板等）の運搬に要する費用をいう。	【安曇野北インターチェンジ】 函渠工（上り線延伸部） 鋼矢板幅広ハット型（W=900mm）（新品） 30.478 t 運搬距離 59.7 km (片道) 鋼矢板NS-SP-J（W=600mm）（リース品） 5.238 t 運搬距離 59.7 km (片道)	-
仮設材等運搬費 B 2（A）	仮設材等（鋼矢板等）の運搬に要する費用をいう。	【安曇野北インターチェンジ】 函渠工（下り線延伸部） 鋼矢板幅広ハット型（W=900mm）（新品） 48.180 t 運搬距離 59.7 km (片道) 鋼矢板NS-SP-J（W=600mm）（リース品） 5.063 t 運搬距離 59.7 km (片道)	-
地質調査等費（A）	平板載荷試験に要する費用をいう。	【安曇野北インターチェンジ】 函渠工（上下線延伸部） 平板載荷試験 2 箇所（上下線各 1 箇所） 帯鋼補強土壁工 平板載荷試験 2 箇所（上下線各 1 箇所）	-
アンカー工の多サイクル確認試験費 A（A）	グラウンドアンカー（除去式）の多サイクル確認試験に要する費用をいう。	【安曇野北インターチェンジ(ランプ橋)】 P 2 橋脚 多サイクル確認試験 3 本	-
アンカー工の多サイクル確認試験費 B（A）	グラウンドアンカー（除去式）の多サイクル確認試験に要する費用をいう。	【安曇野北インターチェンジ(ランプ橋)】 P 3 橋脚 多サイクル確認試験 3 本	-

非破壊検査試験費（A）	コンクリート構造物の非破壊試験による鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。	【安曇野北インターチェンジ(ランプ橋)】 P 2 橋脚 側面作業 12 箇所 P 3 橋脚 側面作業 12 箇所 【安曇野北インターチェンジ】 函渠工（上り線延伸部） 上向き作業 1 箇所 側面作業 2 箇所 函渠工（下り線延伸部） 上向き作業 1 箇所 側面作業 2 箇所	-
鉄筋位置調査費 A（A）	非破壊検査にて鉄筋の配置間隔や深さを調査し、完成図との整合を確認するとともに穿孔位置確定するための既設鉄筋位置調査に要する費用をいう。	【安曇野北インターチェンジ】 函渠工（上下線延伸部） 上り線 横向き 13.1 m2 下り線 横向き 17.6 m2 計 30.7 m2	-

【準備工事費】

割掛け対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
施工ヤード整備費 A（A）	杭基礎施工用ヤードの整備のために要する費用をいう。	【安曇野北インターチェンジ(ランプ橋)】 P 2 橋脚 他工事仮置き土の敷均し・転圧、ヤード撤去 V = 2,114.7 m3 撤去した土の犀川橋右岸仮置きヤード 2 への運搬 P 3 橋脚 他工事仮置き土の敷均し・転圧、ヤード撤去 V = 2,035.5 m3 撤去した土の犀川橋右岸仮置きヤード 2 への運搬 養生用敷鉄板 （基地から現場、P 3 橋脚から P 2 橋脚への運搬費を含む） P 2 橋脚 供用日数 52日 P 3 橋脚 供用日数 52日 敷鉄板 89 枚 参考図 1/6～2/6	○
施工ヤード整備費 B（A）	擁壁工施工用ヤードの整備のために要する費用をいう。 対象箇所：擁壁工（上下線）	【安曇野北インターチェンジ】 3号帯鋼補強土壁工 スロープ造成（購入土） V = 52.5 m3 大型土のう製作（購入土）・設置 大型土のう 18 袋 大型土のう撤去・処分 （スロープ材及び中詰め材は盛土材として使用） 4号帯鋼補強土壁工 スロープ造成（購入土） V = 55.4 m3 大型土のう製作（購入土）・設置 大型土のう 18 袋 大型土のう撤去・処分 （スロープ材及び中詰め材は盛土材として使用） 参考図 4/6～5/6	○

【仮設備工事費】

割掛け対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
足場工費 A 1（A）	一般構造物の施工に必要な足場工に要する費用をいう。	【安曇野北インターチェンジ(ランプ橋)】 P 2 橋脚 一般構造物用足場工 手摺先行足場 $H < 10\text{m}$ $V = 180.1$ 空 m^3 一般構造物用足場工 手摺先行足場 $10\text{m} \leq H < 20\text{m}$ $V = 527.0$ 空 m^3	-
足場工費 A 2（A）	一般構造物の施工に必要な足場工に要する費用をいう。	【安曇野北インターチェンジ(ランプ橋)】 P 3 橋脚 一般構造物用足場工 手摺先行足場 $H < 10\text{m}$ $V = 180.1$ 空 m^3 一般構造物用足場工 手摺先行足場 $10\text{m} \leq H < 20\text{m}$ $V = 491.9$ 空 m^3	-
足場工費 B（A）	一般構造物の施工に必要な足場工に要する費用をいう。	【安曇野北インターチェンジ】 函渠工（上り線延伸部） 一般構造物用足場工 手摺先行足場 $H < 10\text{m}$ $V = 328.5$ 空 m^3 函渠工（下り線延伸部） 一般構造物用足場工 手摺先行足場 $H < 10\text{m}$ $V = 208.7$ 空 m^3	-
足場工費 C（A）	一般構造物の施工に必要な足場工に要する費用をいう。	【安曇野北インターチェンジ】 1号擁壁工 帯鋼補強土壁 外部型わくの設置撤去の足場 106.8 m 重力式基礎 単管傾斜足場 452.1 掛 m^2 重力式擁壁 単管傾斜足場 46.2 掛 m^2 3号擁壁工 帯鋼補強土壁 外部型わくの設置撤去の足場 89.7 m 重力式基礎 単管傾斜足場 388.9 掛 m^2 重力式擁壁 単管傾斜足場 311.0 掛 m^2 4号擁壁工 帯鋼補強土壁 外部型わくの設置撤去の足場 90.4 m 重力式基礎 単管傾斜足場 319.9 掛 m^2 重力式擁壁 単管傾斜足場 109.9 掛 m^2 5号擁壁工 帯鋼補強土壁 外部型わくの設置撤去の足場 153.3 m 重力式基礎 単管傾斜足場 832.2 掛 m^2 9号擁壁工 帯鋼補強土壁 外部型わくの設置撤去の足場 51.1 m 重力式基礎 単管傾斜足場 221.3 掛 m^2 重力式擁壁 単管傾斜足場 47.4 掛 m^2 1号コンクリートブロック積工 単管傾斜足場 56.7 掛 m^2 9号コンクリートブロック積工 単管傾斜足場 74.3 掛 m^2 コンクリートブロック積工 単管傾斜足場 66.3 掛 m^2 （大型ブロック積）	-
支保工費（A）	コンクリート構造物施工時、所定の形状のコンクリート構造物に仕上げるための、仮設の支保構造物に要する費用をいう。	【安曇野北インターチェンジ(ランプ橋)】 P 2 橋脚 載荷荷重 4.8 t / m^2 $V = 111.7$ 空 m^3 P 3 橋脚 載荷荷重 4.8 t / m^2 $V = 102.9$ 空 m^3 【安曇野北インターチェンジ】 函渠工（上り線延伸部） 載荷荷重 1.4 t / m^2 $V = 502.6$ 空 m^3 函渠工（下り線延伸部） 載荷荷重 1.5 t / m^2 $V = 237.5$ 空 m^3	-

【雑工事費】

割掛け対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）				図面
のり面仕上げ費（A）	共通仕様書 2-6-5（8）及び 2-7-5（6）に規定する作業に要する費用をいう	【安曇野北インターチェンジ】 本線・ランプ 盛土部のり面 A = 7229.2 m2				-
コンクリート寒中養生費（A）	寒中コンクリートの施工における保温養生に要する費用をいう。	【安曇野北インターチェンジ(ランプ橋)】 P 3 橋脚 養生シート（ビニールシート） 打設回数 A = 886.7 m2 1 回 【安曇野北インターチェンジ】 函渠工(下り線) 養生シート（ビニールシート） 打設回数 A = 864.5 m2 3 回 函渠工(上り線) 養生シート（ビニールシート） 打設回数 A = 935.4 m2 3 回				-
構造物水抜穴費（A）	コンクリート構造物に設置する水抜穴に要する費用をいう。	【安曇野北インターチェンジ】 函渠工（上り線延伸部） VP管 φ50 L = 6.0 m 函渠工（下り線延伸部） VP管 φ50 L = 3.0 m 1 号帯鋼補強土壁工 重力式基礎 VP管 φ75 L = 68.6 m 重力式擁壁 VP管 φ75 L = 8.7 m 3 号帯鋼補強土壁工 重力式基礎 VP管 φ75 L = 47.8 m 重力式擁壁 VP管 φ75 L = 53.3 m 4 号帯鋼補強土壁工 重力式基礎 VP管 φ75 L = 56.3 m 重力式擁壁 VP管 φ75 L = 22.4 m 5 号帯鋼補強土壁工 重力式基礎 VP管 φ75 L = 114.3 m 9 号帯鋼補強土壁工 重力式基礎 VP管 φ75 L = 16.8 m 重力式擁壁 VP管 φ75 L = 3.9 m				-
目地材費（A）	コンクリート構造物の継目に設置する目地材に要する費用をいう。	【安曇野北インターチェンジ】 目地材（t=2cm） 1 号帯鋼補強土壁工 天端コンクリート A = 8.5 m2 重力式基礎 A = 33.0 m2 3 号帯鋼補強土壁工 天端コンクリート A = 6.7 m2 重力式基礎 A = 27.0 m2 重力式擁壁 A = 13.4 m2 4 号帯鋼補強土壁工 天端コンクリート A = 7.0 m2 重力式基礎 A = 27.0 m2 重力式擁壁 A = 4.2 m2 5 号帯鋼補強土壁工 天端コンクリート A = 12.8 m2 重力式基礎 A = 62.8 m2 9 号帯鋼補強土壁工 天端コンクリート A = 3.6 m2 重力式基礎 A = 18.0 m2 1 号コンクリートブロック積工 A = 8.5 m2 3 号コンクリートブロック積工 A = 5.4 m2 9 号コンクリートブロック積工 A = 15.2 m2 コンクリートブロック積工（大型ブロック積） A = 8.3 m2				-

くい頭処理費（Ａ）	場所打ちぐいのくい頭はつりに要する費用をいう。	【安曇野北インターチェンジ(ランプ橋)】 P 2 橋脚 杭径 1. 5m 12 本 P 3 橋脚 杭径 1. 5m 12 本 計 24 本	-
支承アンカーボルト箱抜費（Ａ）	橋梁下部工工事において、上部工程施工時の支承を設置するための、箱抜に要する費用をいう。	【安曇野北インターチェンジ(ランプ橋)】 P 2 橋脚 スパイラル管 亜鉛めっき鋼板 φ 300 7.2 m P 3 橋脚 スパイラル管 亜鉛めっき鋼板 φ 300 8.0 m	-
防護柵ポスト孔費（Ａ）	函渠に設置する防護柵用ポスト孔の費用をいう（補強鉄筋含まず）。	【安曇野北インターチェンジ】 函渠工（上り線延伸部） 防護柵ポスト孔 8 箇所 函渠工（下り線延伸部） 防護柵ポスト孔 3 箇所	-
仮囲い費（Ａ）	工事区域に設置する仮囲い工に要する費用をいう。	【安曇野北インターチェンジ(ランプ橋)】 P 2 橋脚 仮囲い L = 131.4 m P 3 橋脚 仮囲い L = 124.9 m 参考図 3/6	○
拡幅土工すりつけ費（Ａ）	狭小拡幅盛土部の転圧を行うために必要な余盛り及び切土に要する費用をいう。	【安曇野北インターチェンジ】 拡幅土工すりつけ 上り線L=8m、下り線L=16m 表土剥ぎ取り V = 19.2 m3 凍上抑制層 V = 8.5 m3 上部路床 V = 8.5 m3 下部路床 V = 34.7 m3 上部路体 V = 51.4 m3 下部路体 V = 58.2 m3 盛土撤去 V = 148.4 m3 参考図 6/6	○